

KOREA JAPAN

次代の学校国際交流を
目指して



ソウルツアー
慶熙中の生徒が企画



ホームステイ
最後の晩はパーティ



慶熙中学見学
本当の日常を体験する

COLLABORATION 9



夏のソウル、慶熙中学との合同授業'14

2014年8月23日、ソウルにある名門の慶熙中学校でものづくり授業交流をするために同志社中学校から4名の生徒が研修ツアーに参加した。韓国と日本の生徒がペアになり、両国の先生チームから出されるミッションを乗り越えて行くという問題解決型の授業が定番になりつつある。ブリッジコンテストは、韓国の教員研修会でキム先生と一っしょに授業実践の論文発表をしたり、日本でも様々な研修会や書籍でも発表させてもらっている定番のワークショップである。とても軽く加工しやすいバルザという木材を使って、限られたスパンに橋模型（構造物）をつくる。そこに負荷をかけ生徒自身で試験を行い強度を評価するという取り組みである。一見簡単そ

未来の授業に国境はない。年齢も立場も専門分野も超えて、アイデアや学びをシェアする授業がやってきた。

うであるが、コミュニケーションがうまくとれないと構造物は作れない。しかし今回は前日にソウルツアーを企画し、気の知れた間柄になっていたのでジョークも交えた和気あいあいとした時間となった。

既に現実社会では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発しているものづくりが一般的になっている。そんな原体験をこの授業で体験できたら…。これが、アジアものづくり授業プロジェクトの原点。

充実したソウル文化体験

韓国では春休みが長い関係で、訪問した日はすでに新学期を迎えており授業はスタートしていた。緊張を解くアイスブレイクのプログラムからはじまった歓迎会の後、さっそくにホストファミリー宅へ移動。ステイする側もホスト側もお互いの文化を肌で感じることができる奥深い体験となった。

慶熙の中学生が企画してくれたソウルツアーは、解放感抜群の2階席オープンの特大バスツアー。景福宮→仁寺洞→明洞→東大門と名所を敷き詰めていただき、その日は存分にソウルを体験することができた。

3日目は、韓国一美しいといわれる慶熙学園のキャンパスを散策。お決まりの講堂前での記念撮影をし、慶熙中学に訪問すれば校長室でVIP待遇を受け、日常の慶熙中学の授業にそのまま参加（体育、理科、英語、国語、技術など）した。日韓合同プロジェクトの授業も大変もりあがり、夕食はあるホームステイ宅に全員が集まりパーティのサプライズ。最後のトランプゲームでは大盛り上がりで、「ここは日本か？、韓国か？」「うちにいるのかよそにいるのか」と思うくらいに和んだ。

カフェでは店長さんと話が弾み一緒にテーブルでおしゃべりしたり、もう1杯をもらったり、教材会社の社長さんから理科工作のお土産をもらったり、今回の旅行では予期しないうれしい出来事がたくさんあった。

お世話していただいたみなさんに、予期せぬ新しい方々との嬉しい出会いに感謝します。（沼田）

心のこもった
おもてなし



ともに学習活動・文化・学術研究を交換し、交流しながらお互いの発展に努力して行きたい。



